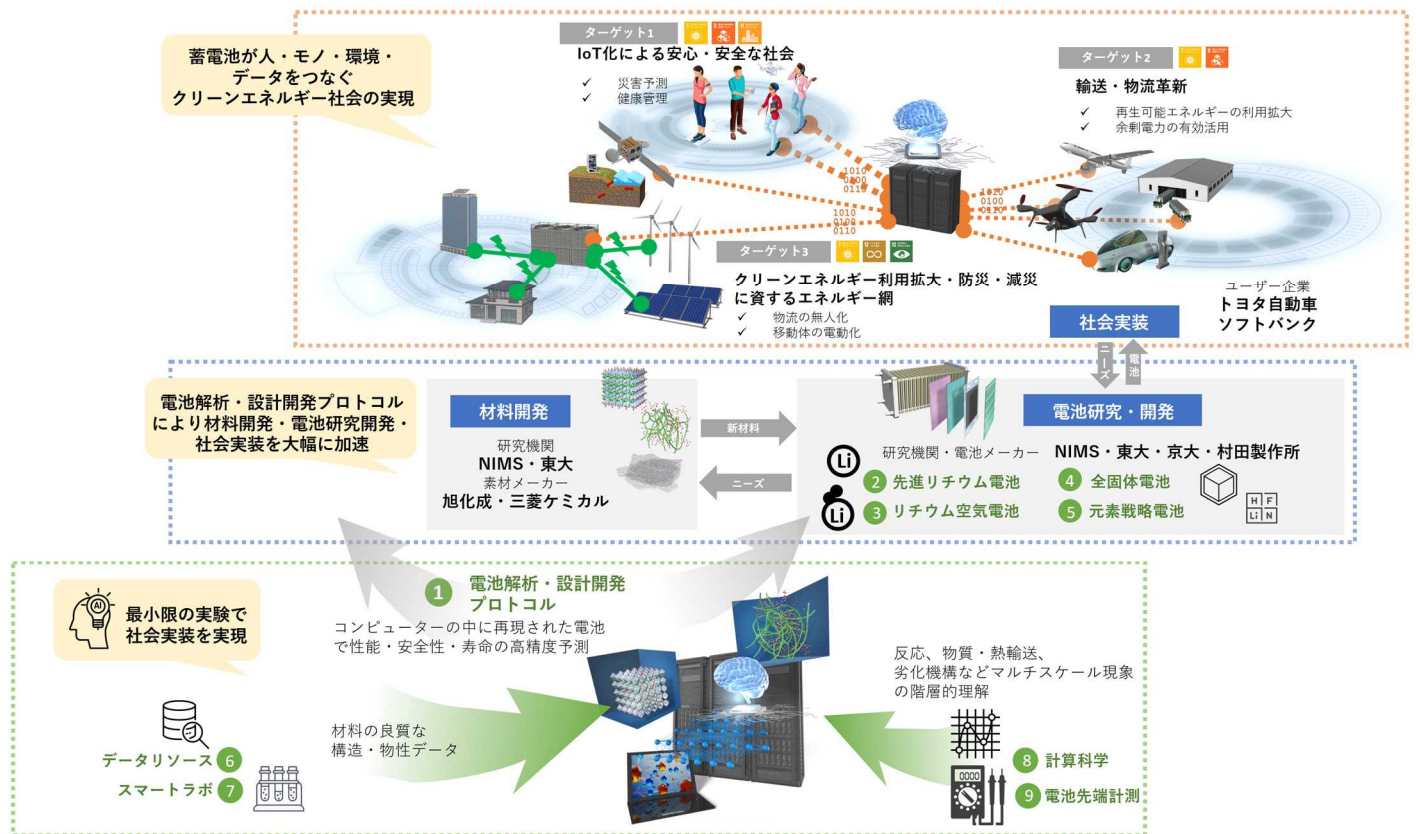


# 政策重点分野/環境エネルギー分野（本格型）

## 先進蓄電池研究開発拠点

代表機関	物質・材料研究機構	プロジェクトリーダー	金村 聖志	エネルギー・環境材料研究拠点 チームリーダー
参画機関 (大学等)	東京大学、京都大学			
参画機関 (企業等)	トヨタ自動車株式会社、株式会社村田製作所、三菱ケミカル株式会社、旭化成株式会社、ソフトバンク株式会社			



エネルギー密度を極限まで高める目的で、電池の内部には物質が高密度で充填されており、狭小な空間に物質・熱・応力が偏在した状態で進行する反応・現象は既存の学理によって理解し、制御することが困難である。そこで、背景となる本質的事象に基づいて革新的な電池の設計を行うため、先端計測・計算科学を基盤に、こうした複雑な現象とその階層性をマルチスケールで理解するための学理を打ち立てる。また、起電力、出力、エネルギー密度、寿命といった性能がさまざま、多用途な蓄電池を設計するための電池解析・開発設計プロトコルを作り上げることによって、蓄電池が人・モノ・環境・データをつなぐクリーンエネルギー社会を実現する。



金村 聖志PL

**お問い合わせ先**：物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 事務局  
 Email: GREEN@nims.go.jp 電話番号: 029-860-4971  
 HP: (作成中)